

こんな授業、ありませんか？

この前は、〇〇を勉強したね。今日はこの問題だよ。何が書いてあるのかな？数字は？おたずねの文は？答えはまだ言っちゃだめだよ。

今日の課題は〇〇だね。

- ▲教師の説明が長く、ついつい指導が長くなる。
- ▲子供と共有せず、教師が自ら課題を設定してしまう。
- ▲子供に見通しをもたせずに、教師が解き方など方向性を示してしまう。

こうすればいいんじゃない？じゃあ、すぐにグループ（ペア）になって！

- ▲子供が自分の考えをもつ時間がない。
- ▲自分の考えをもたせないまま、すぐにペアやグループ活動、集団解決へ入ってしまう。
- ▲グループ活動の目的がはっきりしない。活動後の姿をイメージしない。

〇〇とは、何のことですか？

〇〇のことです。

どこに書いてありますか？

〇ページに書いてあります。

私の方法は、〇〇です。わかりましたか？

僕の方法は、〇〇です。これでいいですか？

話し合いの目的は？考えを1つにまとめるため？

- ▲集団解決を一問一答形式で進めてしまう。
- ▲発表の羅列で終わってしまう。

他にありませんか？

もう時間がないな…

いいです。（本当は分からないけど…）

わかりました。

- ▲「わかりました」「いいです」で安心し、個の把握をしないまま進めてしまう。
- ▲多様な考えのまま終始してしまう。

今日のまとめは〇〇だね。

時間がないから、あとは家でやってきてね、

まとめ

- ▲教師がすべてまとめてしまう。
- ▲適用問題の時間が確保されていない。

これで本当に子供たちに力が付いたと言えるのかしら？

聞くだけ、写すだけで終わらせる子供がいらないかしら。

教師の課題

授業の山場は？ねらいは？
定着は？ 授業の落とし穴



こんな授業にしてみたい！

本時のねらいや達成の姿をイメージして…

導入部分はスピーディーに…

- ◎問題提示の仕方を工夫する。
- ◎考えたい課題を設定する。
- ◎子供と課題を共有する。
- ◎子供に見通しをもたせる。

〇〇だから、〇〇かなあ…

この前習ったことを考えれば〇〇かな。

◎つまづいている子供の見届けを行い、適切な支援を行う。

誤答や途中の考えを生かして…ペアやグループ活動の目的を共有して…

〇〇だから、〇〇になると思います。

◎根拠を明確にして、自分の考えをもつ場を設定する。

〇〇について、どうしてそうなるか、みんなで話し合ってみよう。

本当にそう言えるかな？説明してみよう。

間違えたところ、意見が分かれているところを話し合ってみよう。

- ◎話し合う内容を焦点化して、論点を明確にする。
- ◎ゆさぶりや考えを深めるしかけを考える。

どう考えているの？聞きたいな。教えて！

分かった！みんなに話したい！伝えたい！

- ◎山場となる話し合いに時間をかける。
- ◎考えを聞きたい、話したいという子供の気持ちを引き出す。
- ◎多様な考えは関連付けて整理する。
- ◎学習離れを起こしている子供はいないかを見届ける。

今日の学習で気づいたことや学んだことは何かしら？

今日勉強して分かったことは…

◎引き出した子供の言葉を活用してまとめる。

今日学んだことを生かして、問題に取り組んでみましょう！

やってみたら分かった！できた！

- ◎適用問題の時間を必ず設定する。ジャンプの課題の時間を設定する。
- ◎自己の考えの変容に気付かせる。

これなら本時のねらいを達成できるわね！

学びの質と量を確保することが大切ね。

改善モデルとして…

子供たちが考え、学び合い、力の定着する授業に！